

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成29年 6月30日

【会社名】 アメリカン・インターナショナル・グループ・インク  
(American International Group, Inc.)

【代表者の役職氏名】 プレジデント兼最高経営責任者  
(President and Chief Executive Officer)  
ブライアン・デュパロウ  
(Brian Duperreault)

【本店の所在の場所】 アメリカ合衆国 ニューヨーク州 10038 ニューヨーク、  
ウォーター・ストリート 175  
(175 Water Street, New York, New York 10038, U.S.A.)

【代理人の氏名又は名称】 弁護士 北 澤 正 明

【代理人の住所又は所在地】 東京都港区元赤坂一丁目2番7号 赤坂Kタワー  
アンダーソン・毛利・友常法律事務所

【電話番号】 (03)6888 - 1000

【事務連絡者氏名】 弁護士 川 添 文 彬  
弁護士 堀 亜 由 美  
弁護士 佐 藤 重 男

【連絡場所】 東京都港区元赤坂一丁目2番7号 赤坂Kタワー  
アンダーソン・毛利・友常法律事務所

【電話番号】 (03)6888 - 1000

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

(注) 別段の記載がある場合を除き「当社」または「AIG」とは、アメリカン・インターナショナル・グループ・インクを指すが、文脈によってはアメリカン・インターナショナル・グループ・インクとその連結子会社を指すこともあります。

## 1 【提出理由】

2017年6月28日（ニューヨーク時間、以下特段の記載がない限り同様とします。）開催の当社年次株主総会において、決議事項が決議されましたので、金融商品取引法第24条の5第4項および企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第9号の2の規定に基づき、以下のとおり本臨時報告書を提出いたします。

## 2 【報告内容】

### （1）当該株主総会が開催された年月日

2017年6月28日

### （2）当該決議事項の内容

- |       |   |
|-------|---|
| 第1号議案 | 次回の年次株主総会において後任者が適式に選任され資格を与えられるまでを任期とするAIG取締役候補者13名を取締役に選任する件          |
| 第2号議案 | 業務執行役員報酬を承認する拘束力のない勧告的株主決議  |
| 第3号議案 | AIGの租税属性を保全するためにAIG普通株式の特定の譲渡を規制することを目的とするAIGの修正および再表示基本定款の修正および再表示を行う件 |
| 第4号議案 | アメリカン・インターナショナル・グループ・インクの税金資産保護プランの期限を延長するための修正を承認する件                   |
| 第5号議案 | プライスウォーターハウスクーパースLLPを2017年度における独立登録公認会計監査人として選任することを承認する件               |

(3) 当該決議事項に対する賛成、反対及び棄権の意思の表示に係る議決権の数、当該決議事項が可決されるための要件並びに当該決議の結果

決議事項	賛成数 (個)	反対数 (個)	棄権数 (個)	ブローカー 無投票 (個)	可決要件	決議の結果 および 賛成割合(%)
第1号議案					(注1)	
W・ドン・ コーンウェル	715,456,460	12,440,489	16,190,988	53,103,682		可決 98.29%
ブライアン・デュパ ロウ	743,165,521	467,732	454,684	53,103,682		可決 99.94%
ピーター・R・ フィッシャー	727,160,524	738,249	16,189,164	53,103,682		可決 99.90%
ジョン・H・ フィッツパトリック	727,315,403	588,041	16,184,493	53,103,682		可決 99.92%
ウィリアム・G・ ユルゲンセン	727,217,153	689,410	16,181,374	53,103,682		可決 99.91%
クリストファー・ S・リンチ	726,599,382	1,310,258	16,178,297	53,103,682		可決 99.82%
サミュエル・J・ マークサマー	723,989,216	3,904,508	16,194,213	53,103,682		可決 99.46%
ヘンリー・S・ ミラー	727,215,627	692,741	16,179,569	53,103,682		可決 99.90%
リンダ・A・ミルズ	725,098,194	2,820,822	16,168,921	53,103,682		可決 99.61%
スザヌ・ノラ・ ジョンソン	722,611,677	5,312,930	16,163,330	53,103,682		可決 99.27%
ロナルド・A・ リッテンメイヤー	723,074,010	4,821,163	16,192,764	53,103,682		可決 99.34%
ダグラス・M・ スティーランド	707,150,560	16,502,090	20,435,287	53,103,682		可決 97.72%
テレサ・M・ ストーン	727,010,002	918,020	16,159,915	53,103,682		可決 99.87%
第2号議案	666,303,288	13,258,178	64,526,471	53,103,682	(注2)	可決 98.05%
第3号議案	702,769,362	47,127,797	47,294,460	0	(注3)	可決 76.21%
第4号議案	636,924,246	60,254,728	46,908,963	53,103,682	(注2)	可決 91.36%
第5号議案	770,990,877	25,660,746	539,996	0	(注2)	可決 96.78%

(注1) 第1号議案については、対立候補のいない選任であるため、AIGの付属定款に基づき、取締役はAIG普通株式の株主により投じられる票の過半数、つまり、その「反対投票」よりも「賛成投票」を多く得なければなりません。取締役は、投じられる票の過半数をもって選任されるため、投票の棄権は取締役の選任に影響を及ぼしませんでした。

(注2) 第2号議案、第4号議案および第5号議案については、投じられた「賛成投票」または「反対投票」のみが集計の対象とされ、投票の棄権、ブローカーによる無投票および保留票は、決議案に対する「賛成投票」または「反対投票」とみなされません。決議の可決には、AIG普通株式の株主が投ずる投票（「賛成投票」か「反対投票」のいずれか。）により示された議決権数の過半数による「賛成投票」が必要です。

(注3) 第3号議案については、発行済みのAIG普通株式の議決権（年次株主総会の基準日である2017年5月8日現在 922,116,787株（AIGおよびその特定の子会社が保有する株式を除く。））の過半数の「賛成投票」

が必要です。そのため、第3号議案については、投票の棄権、ブローカーによる無投票および保留票は、決議案に対する「反対投票」として扱われるという形で、投票に影響を及ぼします。

- (4) 株主総会に出席した株主の議決権の数の一部を加算しなかった理由  
該当事項なし。

以 上